

昨日、未明に潜入、立看ド口棒→昼休み武装襲撃

カマル別動隊
反動集団

「政経研」の襲撃から防衛!

■昨夜、権力のこ乱入、不当捜査
弾劾!

■「内ゲバ」事件ぬつ造りすな!

すべての諸君、昨日、反動集団「政経研」が、日帝、国家権力と一体となって教養部、尚書館に武装襲撃をしかけてきた。彼らは京大上座(80年)以来一度たりとも被ったことのないヘルメットを着用し、反革命白色テロを行なったのだ。われわれは、尚書館と教養部を断固として守りぬいた。

民間反革命を使味し、京大学生運動への大弾圧策動する国家権力、京都府警を許すな!

武装襲撃から身を守ったわれわれは、直ちに「内ゲバ」事件ぬつ造り、デマチ上げ、弾圧、こ乱入を狙う、国家権力機動隊と全ことの対峙戦に突入した。

ともとも昨日の武装襲撃は(第一)に、徹頭徹尾、権力をあてにし、権力に使味されたものだ。

昨日未明、「政経研」は、こ構内に潜入し、バニヤ板六十枚分の立看、数千のピラ、パンフ、横断幕などを夜陰に乗じて持ち去った。こ正門の「異常」を権力にアピールするためだ。また、この日の時計台前のポロホロ集会にもかつてこのこ正門前での日共の挑発、デマチ上げタレコミピラによって、権力が弾圧態勢を敷くであろうことにすぎず、十月十九日を選んだのだ。

権力もまた、民間反革命の白色テロの発動をもって、大進撃する革命的京大学生運動の弾圧、破壊を虎視眈眈と狙っている。十五ではK・K連合(警察・カクマル連合)の異常な連係プレーが演じられた。日共、民青や脱着派の告発、タレコミによるデマチ上げ連環は増悪化している。

権力は、大型バス二台、マイクログラス二台に機動隊を満載し、指揮官車、私服車、カ右往左往する。たまたまこ正門は封鎖され、わかご闘、五、二の共闘、そして数百の学生が門をはさんで機動隊と対峙する。私服供は通りかかる学生にスパイ化、オルケルを行なうが誰も相手にしない。探証班がノコノコやってきて、デマチ上げ事後彈圧のために、こ正門外側でありもしない「証拠」をやらせている。もともとらしくデマチ上げで地面に印をつけてお茶をたごしている。機動隊乱入が全学の怒りの総発起に火をつけることを目に見えざるかたちでつきつけ、ついに機動隊乱入を阻止し、こを守りぬいた。

三コマ目の休み時間は、こながら反弾圧の大勝利の報告集会だ。事情を知らずこ

反戦反核・トマホーク配備阻止・三里塚二期
決戦勝利・関西新空港粉砕・中曽根内閣打倒

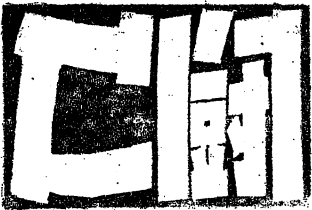
10・21全国統一行動

全関西総決起集会

10月21日(日) 正午 大阪・野崎公園
主催 全関西実行委員会 (地下鉄・野崎下車)

★京大五・二の共闘 午前9時 熊野寮集合

三里塚決戦への全反動粉砕せよ



正門封鎖を解くように要請した二、三の学友も、襲撃からの防衛と機動隊乱入阻止のためたたいを説明するや、共に自治を守るために協力してくれる。曰夫は、十一月九日「至京大入集会」が学生、院生、教職員、生協職員の前でをひき集めておすか教士という破産にうちのめされ、私服と並んでわが部隊の写真をとることしかできない。

「内ゲバ」事件ねつ造のための 学内乱入・捜索を許すな

たにかう学友が次々かけつけ、昼休みを停する喧嘩隊は、一機動隊乱入阻止、三里塚勝利、十一「決起」を呼びかける。こは守り抜かれ、解放され、たにかいの息吹にみろてける。

「カクマルの別動隊」「政経研・朝問研・女問研」を叩き出せ！

へ第三に、重大な事実を学友諸君に暴露する。八〇年に三里塚をたにかう赤ヘル(当時)に対する理不尽極まりない白色テロをもってしめなつてきた、反動集団「政経研・朝問研・女問研」は、ファイシスト・カクマルの別動隊に他ならない。八〇年以降、カクマルとの密通、直接の証拠を幾度かはらまいてきた彼らは、十一・五―十一・九をもって、完全にそのことを自己暴露した。

たにかう白ヘルに対する憎悪と敵対、カクマルと対決し三里塚をたにかうノンセクトの学友に対する異常なまでの憎悪と白色テロ―これらはカクマルの政治的軍事的目的に沿つたものであり、カクマルの白色テロを背景にしたものに他ならない。

七六年カクマルの京大上陸策動の開始は、たにかうに全学のカクマル迎撃隊を強化し、戦闘的学友はいくたびもJAC(学生生カクマル、白色テロ部隊)と激突し、カクマルせん滅のための索敵情報戦争などとしたたにかいとつれていった。七九年井上(76S)ハ〇年振美(68S)がせん滅され、関西JACの京大潜入策動は根本的破壊をもとめる。そこで、京大潜入のための政治的軍事的先業内人として、突如、京大學生運動と縁もゆかりもない「政経研」なる反革命集団のケバとテロルによるこ急行上陸を準備したのだ。

三里塚十月蜂起貫徹し、十一・一二に

京大學生運動は、反革命の武装襲撃から自己キャンペーンを守りぬいた。三里塚の正義、反戦の大義が、学友の支持、共感、決意の下、権力の介入、弾圧と対決し、転向者供(曰夫、カクマル、脱着派、「政経研」)の反革命武装襲撃を防ぎ、前進している。

権力向、総反撃を繰り破る反帝大衆決起は十一・一〇をもって

権力は、武装襲撃を指をくわえてやりすこしておいて、われわれが身を守りぬいたことを見るやこ乱入を断じた。昏間に教養生の前では決して強行できなかった「事件」ねつ造のための学内乱入を、昨夜七時半、夜陰に乗り込んできたコソ泥よろこく強行した。へ事件―捜索―ではなく、へ捜索強行―「事件」ねつ造―を組つてけるのだ。

こんなことを許したら、権力は好きな時に民間反革命の白色テロを発動し、そのたびに学内乱入と「事件」アップ上げをしかけてくる。権力は、われわれが、武装襲撃にひるまずに、三里塚、反戦闘争を貫くことそのものを「犯罪」として弾圧しようというのだ。全学の力ではね返さず。

朝問研・女問研」を叩き出せ！

彼らか、名義上の看板として「入管闘争」は、一見、在日朝鮮人民を「ボロクズ」呼ばわりするファイシスト・カクマルと相容れない。しかし、このことごと、別動の別動たるゆえんだ。昨年十一月にせん滅された花田(83E院)を想起せよ、奴は、カクマルが襲撃、憎悪して止まないはずの市民運動に、実は深く着りこみ、名古屋の「川名文庫」の代表にまで化けていたのだ。昨年五・九には、脱着派を偽装してこに潜入し、擲弾、粉砕された。これがファイシストのやり口といつものだ。彼らは、十一・五に肩を並べてこに乱入し、昨日もまた連係を繰り返して、粉砕された。バケの夜はひっぱがされた。在日朝鮮人民の、生活と生命をかけたたにかいである入管体制粉砕のたにかいをもあろうに、ファイシストとの連係の「ネタ」にしてきたことに対し、今こそ怒りを爆発させよう。

三里塚武装闘争への恐怖と反動

へ第三に「政経研」の本質は、内乱に恐怖する激動期の反革命だといふことだ。自らの脱着派や「路線」を決して明らかにせず、帝國主義打倒のための武装闘争に決起するものに対して憎悪を燃やすのだ。幾多の犠牲を払いながら、非転向でたにかう三里塚闘争や革命派のたにかいを平然と売り渡すのである。

始つた。へ自治への核心は、不屈、非転向で反戦を貫くことだ。たにかう朝鮮、アジア人民と血償かけて連帯し、曰帝の侵略を内乱へ転化せよ、十一・二回際反戦デーに、三里塚勢は丸腰に総決起しよう。三里塚十月蜂起を貫徹し、曰帝中曾根打倒へ全ゆる反動、反革命を粉砕し、今こそ起ろうなろう。